

2010年度企画展

現代能面・狂言面三人展

高津紘一 伊藤通彦 岩崎久人

2010 5/8(土)~6/4(金)



高津紘一 作
「般若」



伊藤通彦 作
「狐」



岩崎久人 作
「女面」

現代を代表する面打師の新作102面を展示

時 間：9時～17時（入館は閉館の30分前まで）入館無料

休館日：5/23(日)・30(日)

交 通：小田急線「玉川学園前」駅下車 駅南口から徒歩15分
（駐車場がありませんので、お車でのご来館はご遠慮ください）

主催 玉川大学教育博物館

〒194-8610 東京都町田市玉川学園6-1-1

Tel：042-739-8656 e-mail：museum@tamagawa.ac.jp

www.tamagawa.jp

※作者在館日時は、電話（042-739-8656）または当館ホームページでご確認下さい。

作者座談会

5月15日(土)13:30～14:45

玉川学園中学年校舎講堂

テーマ：面を打つということ

司会：山崎有一郎（横浜能楽堂館長）

要予約（TEL 042-739-8656 教育博物館）

2010年度企画展

現代能面・狂言面三人展

高津紘一 伊藤通彦 岩崎久人

2010 5/8(土)~6/4(金)

玉川学園では、人間文化のすべてをその人格の中に調和的に形成することにあるという信念のもと、革新的な教育活動を実践すると同時に、伝統文化への理解も機会あるごとに学びの場で提供してきました。今回の能面・狂言面の展覧会は、本学のこのような取り組みの一環にあり、現代を代表する3人の面打師の新作計102面を紹介する内容になっています。

能と狂言(能楽)は、室町時代初期から600年以上の長い歴史の中で受け継がれてきた貴重な無形文化財です。1957年に国の重要無形文化財に指定され、2001年にはユネスコの「無形文化遺産」として認められ、世界的にも高く評価されています。能・狂言を演じる上で重要な存在である面からは、連綿と受け継がれてきた美の世界を堪能していただけることと思います。

この展示によって、貴重な伝統文化を次世代へ継承していくために、幅広い世代が文化に親しみ、その価値を見つめ直すことができる機会になれば幸いです。

高津紘一(たかつ こういち)

1941年神奈川県平塚市生まれ。1964年から能面師を志す。国際交流基金・ニューヨークジャパソサエティ主催「世界の中の日本演劇展」で作品展示(ニューヨーク・ミュンヘン)。『高津紘一 能面を打つ』『能面の彩色』(玉川大学出版部)などを出版。

伊藤通彦(いとう みちひこ)

1942年三重県伊勢市に生れる。武蔵野美術大学油絵科卒業。1979年から「赤泥舎」を主宰。凜風会主催「能面・狂言面三人展」に出品。三宅右近師指導のろうあ者狂言のために面を打つ。『面打ち入門』『狂言面打ち入門』(日貿出版社)などを出版。

岩崎久人(いわさき ひさと)

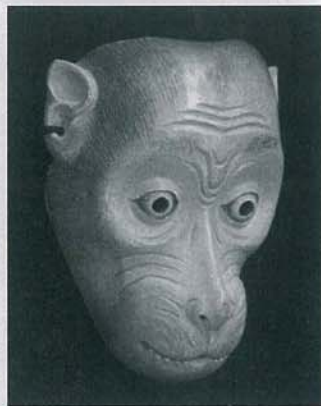
1945年大分県東国東郡安岐町生まれ。彫刻家望月見氏に師事。金春流シテ方守屋与四巳師に師事。「面の会」を主宰。東京・銀座で3回の個展を開催する。神奈川県工芸美術会常任委員。『面ヲ打ツ』『狂言面-鑑賞と打ち方-』(淡交社)などを出版。



高津紘一作「鷹」



高津紘一作「童子」



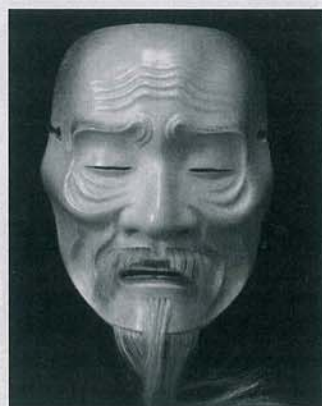
伊藤通彦作「猿」



伊藤通彦作「小天狗」



岩崎久人作「湯食」



岩崎久人作「景清」

※作者在館日時につきましては、電話(042-739-8656)または当館ホームページでご確認下さい。

玉川大学教育博物館 www.tamagawa.jp

〒194-8610 東京都町田市玉川学園6-1-1

Tel: 042-739-8656 e-mail: museum@tamagawa.ac.jp

小田急線「玉川学園前」駅下車 駅南口から徒歩15分

(駐車場がありませんので、お車でのご来館はご遠慮ください)

